## 『 広げようスポーツの輪 』

~参加者を増やすために私たちは何をすればよいのか~

関市スポーツ推進委員会

研究責任者 大野照美

研究発表者 村井峰男 櫻井知里 横地里美 多田健

酒向德享 後藤章 長瀬祐子

## I関市の概要

関市は岐阜県のほぼ中央部にあり、清流長良川の中流に位置しています。北は福井県と下呂市、南は濃尾平野に接しており、東西延長は約39km・南北延長は約43kmの「V」字型の地形をしています。平成17年2月、平成の大合併により洞戸村・板取村・武芸川町・武儀町・上之保村の5町村を編入し、現在の関市が誕生しています。人口は約9万人で、山間地から平野部までの変化に富む地形を長良川・板取川・津保川・武儀川が流れ、水と緑の豊かな自然環境が保たれています。

本市は、「日本一の刃物のまち」として全国に 名が知られており、小刀・かみそり・はさみ・



ポケットナイフ・包丁・金属洋食器などの刃物産業が発展しています。また、東海北陸自動車道と 東海環状自動車道の結節点である本市は、東海圏域と北陸圏域の経済と産業の交流拠点となり、工 業・物流のハイテク産業都市としての飛躍が期待されます。







#### Ⅱ生涯スポーツの現状

関市は「いつでも、どこでも身近で気軽にスポーツを楽しめるまち せきし ~1 市民 1 スポーツで "みんなでハッピーライフ" ~」を基本理念として、生涯スポーツの推進、競技スポーツの推進、子どもの運動・スポーツ活動の推進、支えるスポーツの推進、スポーツ環境の諸整備を柱に、各種施策を展開しています。

市主催のスポーツイベントには、毎年3月に行われる「刃物のまち関シティマラソン」をはじめ、年2回開催される「せきサイクル・ツーリング in 津保川、板取川」や、「ひまわり軽スポーツの集い」、「チャレンジデー」、「カローリングカップ」、「関市駅伝競走大会」、「ほらどキウイマラソン大会」、「ふどうの森トレイルラン大会」等があり、スポーツ推進委員もスタッフとして運営に携わっています。

# Ⅲ関市スポーツ施設

関市の生涯スポーツ施設は、表 1、表 2 のとおりです。

表 1 関市生涯スポーツ施設一覧

施設名	施設内容・利用種目	面積㎡	開設年月
中池かわせみスタジアム	陸上 400m	23,105	S39.4
(陸上競技場)			
中池かわせみスタジアム	会議室、研修室	1,497	H30.3
(陸上競技場)管理棟			
グリーン・フィールド中池	サッカー1 面、スタンド付	26,000	H12.10
(中池公園球技場)			
中池公園市民球場	野球1面	18,000	S52.4
中池公園多目的広場	芝生広場	9,700	H2.10
中池東グラウンド	野球・ソフトボール一般1面	11,392	H26.4
中池体育館	バレーボール 2 面	1,160	S56.4
中池テニスコート	10 面(スタンド付)	4,020	S48.5
中池テニスコート管理棟	事務室、更衣室	114	H27.3
中池市民プール	9コース、50m	5,663	S49.9
	幼児用	3,333	S53.8
中池アーチェリー場	射距離 50m6 レーン、	10,500	H5.4
	90m7 レーン		
せきしんふれ愛アリーナ	メインアリーナ	11,110	H11.5
	(バレーボール3面)		
	サブアリーナ(バレーボール1面)		
	武道場(剣道1面)		
	温水プール(25m、子ども用、幼児		
	用、歩行用)		
	トレーニングルーム		
武儀生涯学習センター	アリーナ (バレーボール2面)	1,600	H11.4
	トレーニングルーム		

# 表 2 その他スポーツ施設数

地区体育館	6 施設
地区グラウンド	30 施設
テニスコート	4 施設
学校開放施設	28 施設
その他スポーツ関連施設	6施設

### Ⅳ関市スポーツ推進委員会

関市スポーツ推進委員会は、市内 16 支部の委員で構成されており、現在 46 名 (男性 35 名、女性 11 名) で活動しています。このうち、一般公募による委員は 8 名います。また、在職年数が 4 年以下 (2 期以下) の委員は 46 名中 27 名おり、比較的新しいメンバーで活動を行っています。

組織は、総務委員会、企画委員会、広報委員会、ウオーキング委員会、スポーツ普及委員会、研修委員会、女性部で構成されており、各委員会で役割分担をしながら、市民のために様々なイベントを企画・運営しています。(表 3)

表 3 関市スポーツ推進委員会組織表

機関	事業内容
総務委員会	・本会の全般に関すること
	・各委員会の運営に関すること
	・親睦に関すること
企画委員会	・各種事業の立案、企画に関すること
	・出前講座に関すること
広報委員会	・「スポ推せき」の発行に関すること
	・各イベントのチラシ作り、活動記録(写真撮影)に関すること
	・委員会活動事業の PR に関すること
ウオーキング委員会	・はもみん・はつらつウオーキング(年4回開催)の企画及び
	運営に関すること
スポーツ普及委員会	・軽スポーツの普及に関すること
	(チャレンジ!!ザスポーツゲーム、体育館一般開放)
	・体力テストに関すること
研修委員会	・委員の資質向上のための研修に関すること
	・各研修会に関すること
女性部	・女性委員によるイベントに関すること

## Vテーマ設定の理由

関市スポーツ推進委員会は、関市スポーツ推進計画が掲げる目標である「1 市民 1 スポーツ」を 実現するため、様々な事業を企画・運営しています。特に、「チャレンジ!!ザスポーツゲーム」、「体 育館一般開放」、「はもみん・はつらつウオーキング」の 3 つの事業に力を入れ、いかに市民のスポーツ実施率を上げるか、常に試行錯誤しています。

そこで、現在関市スポーツ推進委員会が重点的に取り組んでいる上記3つのイベントの現状・問題点について把握し、今後の市民のスポーツ実施率の向上につなげる為、テーマを「広げようスポーツの輪~参加者を増やすために私たちは何をすればよいのか~」と設定しました。

## VIチャレンジ!!ザスポーツゲーム

チャレンジ!!ザスポーツゲームは、毎月原則第2 土曜日の午後1時半~午後4時に開催し、市民の方々に軽スポーツのルールと楽しさを教えることを目的としたイベントです。RDチャレンジ、クロリティ、シャフルボード、ペタンク、カローリング、バウンドテニス等の様々な軽スポーツを対象としており、参加者の要望に沿った種目を実施しています。

ここ最近は、カローリングとバウンドテニスの2種目が人気です。カローリングにおいては、 平成29年度に、スポーツ推進委員会が主催する 「チャレンジカップ」を初開催し、参加者間の交 流の場を設け、親睦を深めました。バウンドテニ スは、平成27年度からコーナーを開設し、未経 験者への指導を積極的に行っています。

課題としては、図2が示すとおり、参加者の 高齢化が挙げられます。今後は若年層の参加者 を増やす為、学童・PTA・子ども会への呼びか けやチラシの配布、SNSを利用したイベントの 宣伝にも力をいれていきたいと考えています。

また、軽スポーツの道具やコートの準備、指導までを一貫して行う場でもあるため、スポーツ推進委員の1人1人が即戦力にならなければなりません。そこで、スポーツ推進委員の資質向上の為、今後も積極的に研修を行っていきます。

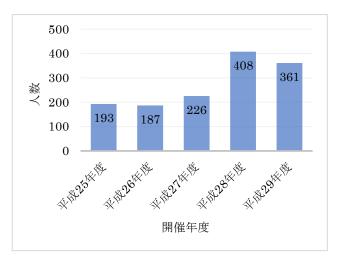


図1 チャレンジ!!ザスポーツゲーム参加人数

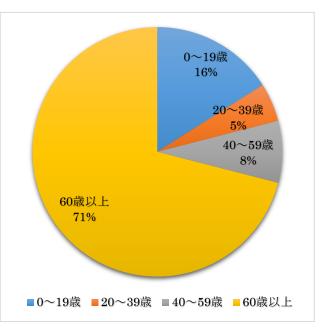


図 2 平成 29 年度チャレンジ!!ザスポーツゲーム 年代別参加者







#### Ⅵ体育館一般開放

体育館一般開放は、月に2回(第1第3木曜日)午後7時~午後9時までの2時間、せきしん ふれ愛アリーナ(関市総合体育館)のメインアリーナを開放し、参加者の方がそれぞれ好みのスポーツを楽しむ場を提供することを目的としています。スポーツ推進委員は受付、アリーナ内の間取り、プレイ中の見回りをします。卓球、バドミントン、ソフトバレーにおいては、道具の貸し出しも行っています。利用料は年間と月間に設定し、保険料も含まれています。

現在は、メインアリーナ内を余すところなく使用し、活気あふれる活動となっています。よって 現状を維持しつつ、さらに参加者のニーズをくみ取り、より良いものとなるよう努めていきます。

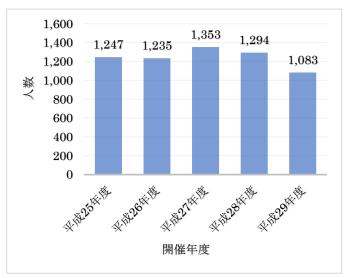


図3 体育館一般開放参加人数

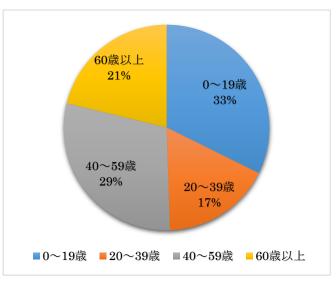


図 4 平成 29 年度体育館一般開放年代別参加者

また、平成 29 年度から関市スポーツ推進委員会独自のポイントカードを作成し、リピーターの獲得にも力を入れています (図 5)。(このポイントカードは、チャレンジ!!ザスポーツゲーム、はもみん・はつらつウオーキングでも利用できるようにしています。)このカードは、1つの行事だけでなく他の行事も知ってもらい、たくさんの方に関市スポーツ推進委員会主催の行事に参加してもらうことを目的としています。各行事に参加しポイントを貯めていただいた方に、15 ポイントでプチプレゼント、全 20 ポイントで関市スポーツ推進委員会オリジナルのボールペンを進呈しています。



図5 スポ推ポイントカード

さらに、平成30年度から関商工会議所と連携し、関市内の飲食店や商店街の店舗で利用できる「STAMPフ・フ・フCARD」にもポイントを付与しています。これらの制度はまだ認知度が低い為、多くの参加者に宣伝することが今後の課題であると考えます。

### Ⅷはもみん・はつらつウオーキング

はもみん・はつらつウオーキングは、旧関地区をはじめ、洞戸地区、板取地区、武芸川地区、武 儀地区、上之保地区の各名所を巡る年4回開催のウオーキングイベントです。平成24年度には1年で450名を超える参加者がありましたが、近年様々な団体がウオーキングイベントを企画していることもあり、参加者の減少がみられるようになりました。(図6)

そこで、他のウオーキングイベントとの差異化を図り参加人数を増やすため、平成 29 年度は広報活動に重点を置きました。広報委員が見やすく分かりやすいチラシを作成し、各地域のふれあいセンターや公民館、体育館に配置するだけでなく、市のホームページにも掲載し、幅広い年代の方への周知を心掛けました。

また、ウオーキング以外にもウオークラリーを企画し、各チェックポイントにて軽スポーツを行い、最後には参加者全員に菓子まきをするといった通常とは一味違ったイベントを行いました。このような取り組みの結果、平成29年度の参加者は386名にまで増加しました。

しかし、参加人数を増やすためには、まだまだ 多くの課題を改善する必要があります。課題を

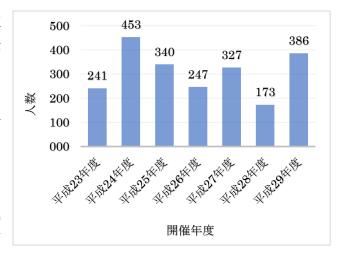


図6 ウオーキング参加人数



図7 ウオーキングチラシ

把握するために、イベント終了後には毎回アンケート調査を実施しています。その結果を参考にして、パワースポット巡りや季節にあったコース、自然を満喫出来るコース、子どもから大人まで楽しめるコースづくりを心掛けるとともに、初めての方でもよく分かる地図や目印の看板等を作成し、参加者の安全と健康に留意したより良いイベントを目指します。







### IX今後の課題・まとめ

関市スポーツ推進委員会では、「チャレンジ!!ザスポーツゲーム」、「体育館一般開放」、「はもみん・はつらつウオーキング」の3つのイベントを主幹として、各委員会が知恵を絞り、「1市民1スポーツ」を目標に活動しています。

まず、市民へのアピールとして、イベントを市民の目に触れやすい場所や話題のスポットで開催したり、各地域にあるスポーツ施設を活用したりしています。そして参加していただいた市民のニーズを汲み上げ、これからの活動について、どこを目指して進んで行けばより良い活動になるのか、さらに活発にするにはどうしたら良いのかを考えます。

具体的に活動を広げる方法として、関市には各自治会や、地域にふれあいまちづくり協議会の組織があるため、これらの団体と連携した活動や、介護施設・児童施設への活動のアピールが可能です。

スポーツ推進委員のイベントへの参加者はリピート率が高く、最近では分かりやすいチラシ作りや情報提供の場の拡大により、新規の参加者増加の成果も見られ大変うれしく思います。しかし、参加者の年齢層が高めであることから、これからは若い世代や、子育て世代の若いファミリー層の参加も多くなるよう、インターネットや SNS を活用した情報発信を積極的に取り入れていきます。イベントの内容としては、子どもから高齢者まで世代に合わせたスポーツの提案や実施も必要ですが、いろいろな世代が混ざって楽しむための特別ルールや独自のスポーツを発案し、企画に挑戦したいと思います。

スポーツ推進委員個々の課題として、委員の中でも活動に対する意識に温度差があり、参加するメンバーが固定されてしまっている点が挙げられます。この現状を改善するために、それぞれが委員としての自覚を持ち、活動に関心を高め、自信を持って参加するという意識が持てるように努力をしていきます。そのためには、月一度行われる月例会に出席すること、研修では競技のルールや知識を高め、イベントにも積極的に参加することが大切です。そうすることで、チームワークも円滑となり、年数の少ない委員は、これまでの活動や成果などをベテラン委員から学び、経験を積み、成長することが出来ると考えます。

東京オリンピック・パラリンピックの開催も近くなり、これから日本全体がスポーツで盛り上がって行く勢いに、私たち関市スポーツ推進委員会も同様に盛り上がれるよう頑張っていきます!





